

2026年度 第1回東三河ビジョン協議会 開催概要

【開催概要】

- ◆日時：2026年7月22日(水曜日)
午前10時～正午
- ◆場所：東三河建設事務所 5階 大会議室
- ◆議題：東三河振興ビジョン2030中間見直しについて



【結果概要】

東三河振興ビジョン2030（計画期間：2022年度～2030年度）においては、社会環境の変化への対応と進捗状況の振り返りのため、今年度に中間見直しを行うこととしております。

今回の中間見直しにおいては、ビジョンの目標年度である2030年度に向け、計画期間後半の具体的な取組や進捗管理指標を整理・追加し、「東三河振興ビジョン2030 後半の取組」として策定することが了承されました。

また、骨子案について、**資料2**のとおりとして策定を進めていくことが了承されました。

<委員からの主な意見>

- 重点プロジェクトで実施している取組は、プロジェクト期間終了後もフォローアップをいただくなど、引き続き推進していただきたい。
- 進捗管理指標は、現在の状況を踏まえ、より良い方向を目指せるような目標を設定していただきたい。
- 「人の流れ」の創出・拡大に向け、連携して取り組んでいきたい。
- 「強み」を探して伸ばしていくという戦略が必要である。
- ビジョンが幸福感について考えるきっかけとなるような内容を盛り込むことが望ましい。各市町村が行っている住民意識調査にも反映できると良い。
- 山村都市交流拠点施設の活用方法や連携方法の検討のように、都市と山間部の協働はこの地域の特徴である。こうした連携や協働の形態をビジョンでもっと打ち出していくと良い。

○この地域にとっては大きなことだと思うので、交通インフラ全体を見ると
いう視点もあると良い。

○東三河のように、県の一部地域の中で県や自治体、経済界などが連携して
いる事例はほとんどない。様々な社会変動の中で、豊かさや経済力を維持
するためには関係主体の連携が不可欠である。

○産業や交通ネットワークをはじめとする東三河の歴史的なつながりや地域
性が、東三河県庁形成のきっかけであったと考える。今後は、この広域的
な枠組みを活かした取組を推進し、人や資金をはじめとする多様なネット
ワークを呼び込む力を高めていくことが重要である。

2026 年度 第 1 回 東三河ビジョン協議会 次第

日時 2026 年 7 月 22 日 (水)

10 時～

場所 東三河建設事務所

5 階 大会議室

1 あいさつ

2 議題

東三河振興ビジョン 2030 中間見直しについて

3 その他

東三河振興ビジョン 年次レポート（主な取組状況）について

(配付資料)

資料 1 東三河振興ビジョン2030中間見直しについて

資料 2 東三河振興ビジョン2030中間見直し 骨子（案）

資料 3 東三河振興ビジョン 年次レポート（主な取組状況）について

参考資料 速報版 人口・経済の状況について【東三河振興ビジョン2030 後半の取組】

東三河ビジョン協議会 委員等名簿

【委 員】

区 分	所属・職	氏 名	備 考
市町村	豊橋市長	長坂 尚登	
	豊川市長	竹本 幸夫	代理 副市長 廣瀬克夫
	蒲郡市長	鈴木 寿明	代理 副市長 贅年宏
	新城市長	下江 洋行	代理 副市長 佐藤浩章
	田原市長	山下 政良	欠席
	設楽町長	土屋 浩	
	東栄町長	村上 孝治	
	豊根村長	伊藤 浩亘	
広域連 合	東三河広域連合長	長坂 尚登	—
民間 組織等	東三河広域経済連合会会長（豊橋商工会議所会頭）	神野 吾郎	
	豊川防災ボランティアコーディネーターの会会長	河合 美恵子	
	豊橋農業協同組合代表理事組合長	西郷 和久	欠席
	（一社）ほの国東三河観光ビューロー会長	佐藤 元英	
	愛知大学地域政策学部教授	戸田 敏行	
	（一社）奥三河ビジョンフォーラム理事長	夏目 工	
	愛知大学学長・理事長	広瀬 裕樹	
	国立大学法人豊橋技術科学大学学長	若原 昭浩	代理 社会連携推進センター 副センター長 加藤茂
愛知県	副知事	川原 馨	座長
	東三河総局長	松崎 健吾	
	東三河総局新城設楽振興事務所長	長谷川 勝春	

（敬称略）

【オブザーバー】

所属・職	氏 名	備 考
愛知県議会議員	峰野 修	欠席
	山本 浩史	欠席
	藤原 ひろき	欠席
	丹羽 洋章	欠席
	杉浦 正和	
	中村 竜彦	欠席
	浦野 隼次	
	大久保 真一	
	下奥 奈歩	欠席
	喚田 孝博	

(敬称略)